

第2章

目的

ここでは、大学在学中に獲得した資質・能力の水準が学部ごとで開きがないか、その検証を目的とした。

対象および手法

比較には、質問5 “あなたは、大学入学から大学卒業までに、以下の知識・能力をどのくらい身につけることができましたか”の17項目と回答結果を用いた。回答結果は、リッカート尺度により得られた値を、学部を集計単位として平均値および信頼区間を算出した。学修成果を測定する（学位プログラムの評価）には、学科単位での評価が理想であるが、データ数が小さくなり解析が困難であることが見込まれたため、学部を基礎単位とした。

なお本調査は、無作為抽出したものではないため、平均や区間推定の値にも、バイアスを含んでいるものと考えるが、これらは解釈の際に留意するのにとどめ、分布の可読性を優先した。

結果

図1-1は、質問5における学部全体の回答結果で、平均値（エラーバーは95%信頼区間）を表している。C, D, Eの3つは低い水準にあり、特に**D. 外国語の運用能力**は2.56と最も低い結果が認められる。

図1-2は、質問5における学部別の回答結果で、平均値（エラーバーは95%信頼区間）を表している。**D. 外国語の運用能力**においては、文学部で、2.94 [2.73-3.15] で高い値を示しており、他の学部と大きな開きが認められる。

追加の解析

以上から、**D. 外国語の運用能力**においては全学部で低い水準にあること認められたが、何が結果と関連性を持つのか追加の解析を行った。

解析手法には、相関分析を用いた。対象のデータには、質問5の“**D. 外国語の運用能力**における回答”と“質問4のあなたは、大学在学中、どのような学び方をしましたか”における回答”を用いた。

追加の解析からいづれ学部においても、**E. わからないことがあるとき、授業後などに先生に質問した**との間で一定の関連性があることが認められた（表1）。学生の性格、学部の特性、バイアスなどを考慮すると、無条件に適用することはできないが、学生にとって質問のしやすい授業は、改善の一助に繋がると考えられる。

補論

1. 目的・手法

上記の解析に加えて、自由記述形式の質問 16「あなたが本学での学びから得た知識や技能などは、卒業後、どのような形で活かされていますか。あるいは、大学卒業後の経験から、本学で身につけておけばよかったと思う知識や技能などはありますか。」の回答結果から、どのような記述が多くみられたのか集計を行った。

方法として、得られた回答を、“活かされたもの”、“身につけておけばよかったと思うもの”の2つに分類し、それぞれに下にどのような要素が含まれるか、ラベル（タグ）を付与して、集計を行った。ただし、以下に該当するものは、集計から除外した。

- ・ 質問とは無関係なもの
- ・ “活かされた”・“身につけておけばよかった”の判断が出来ないもの。

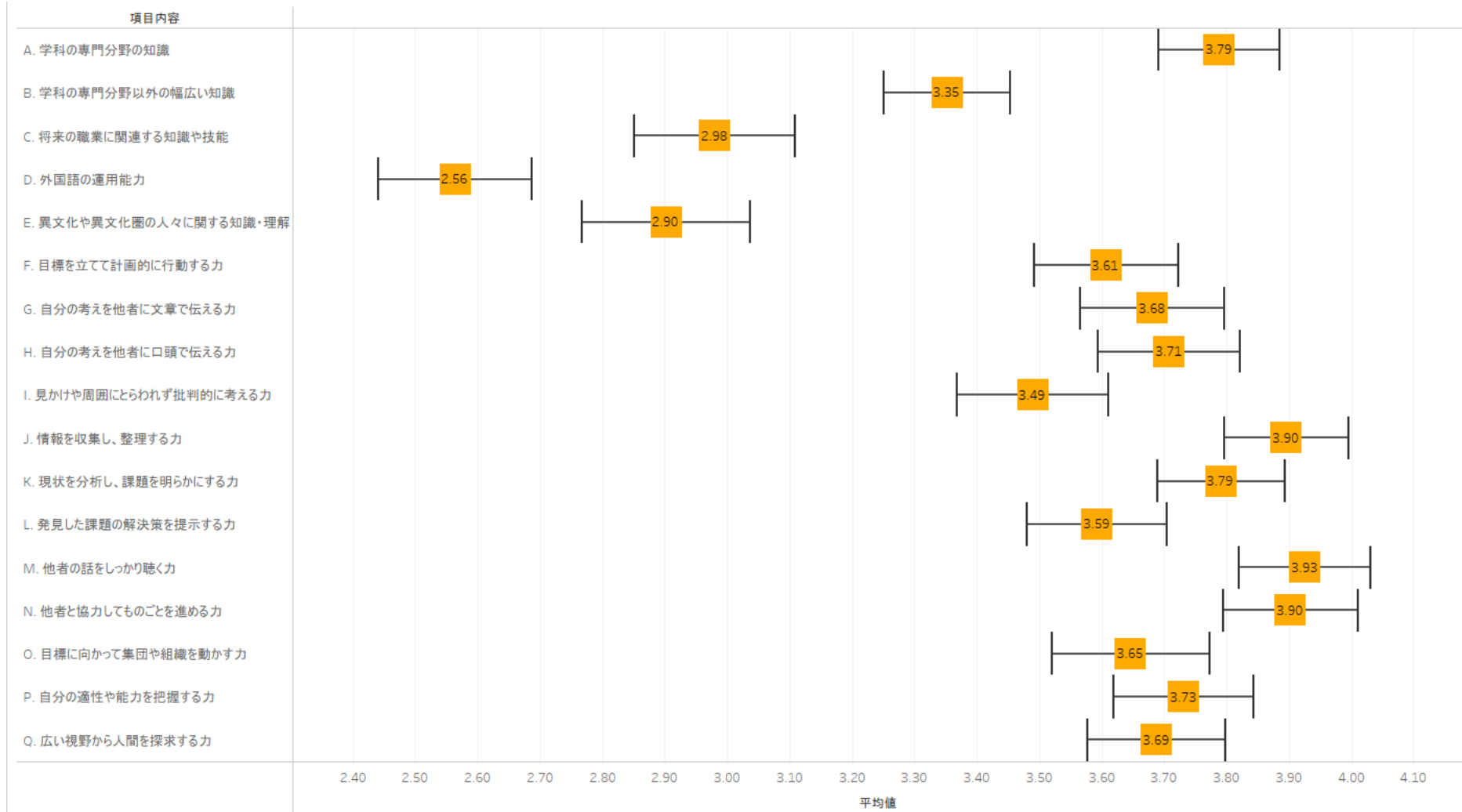
3. 結果

活かされたものとして付与したラベルは 10 種類で、ラベル数の合計は 49 であった（表 2-1）。最も多く挙げられたのは専門分野の知識で、次いでコミュニケーションスキル、論理的思考力と続く。こちらはジェネリック・スキルや行動特性に類される語が多く挙げられている。

身につけておけば良かったとして付与したラベルは 9 種類で、ラベル数の合計は 57 であった（表 2-2）。最も多くあげられたものは語学であった（10 件）。仕事に直接求められているという理由もみられるが、より、職業選択（転職）の幅が広がるという趣旨の回答も多い。

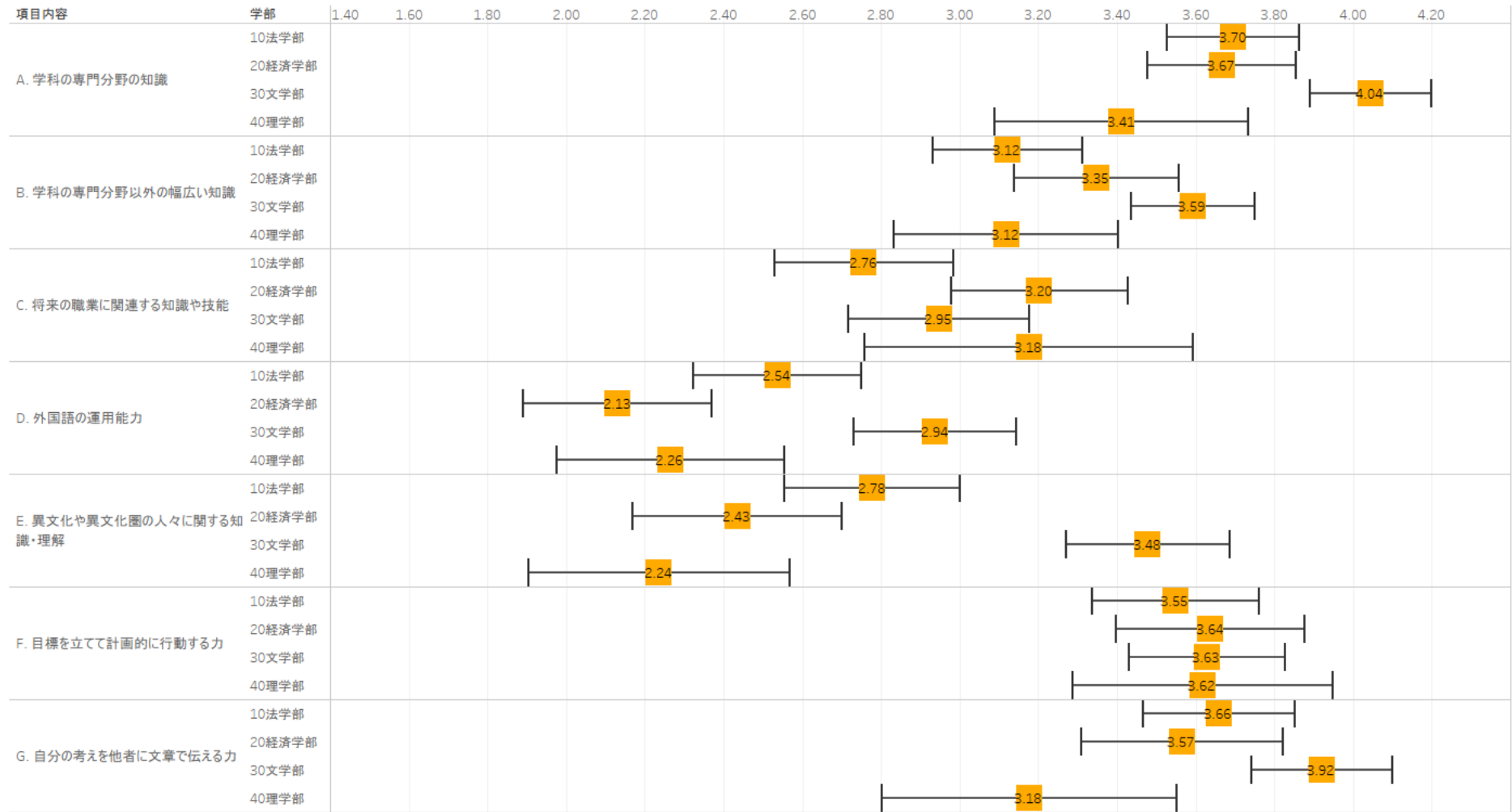
質問 5 に加え、自由記述回答の結果からも、語学力の必要性があることが認められた。

図 1-1 回答結果（全学部）



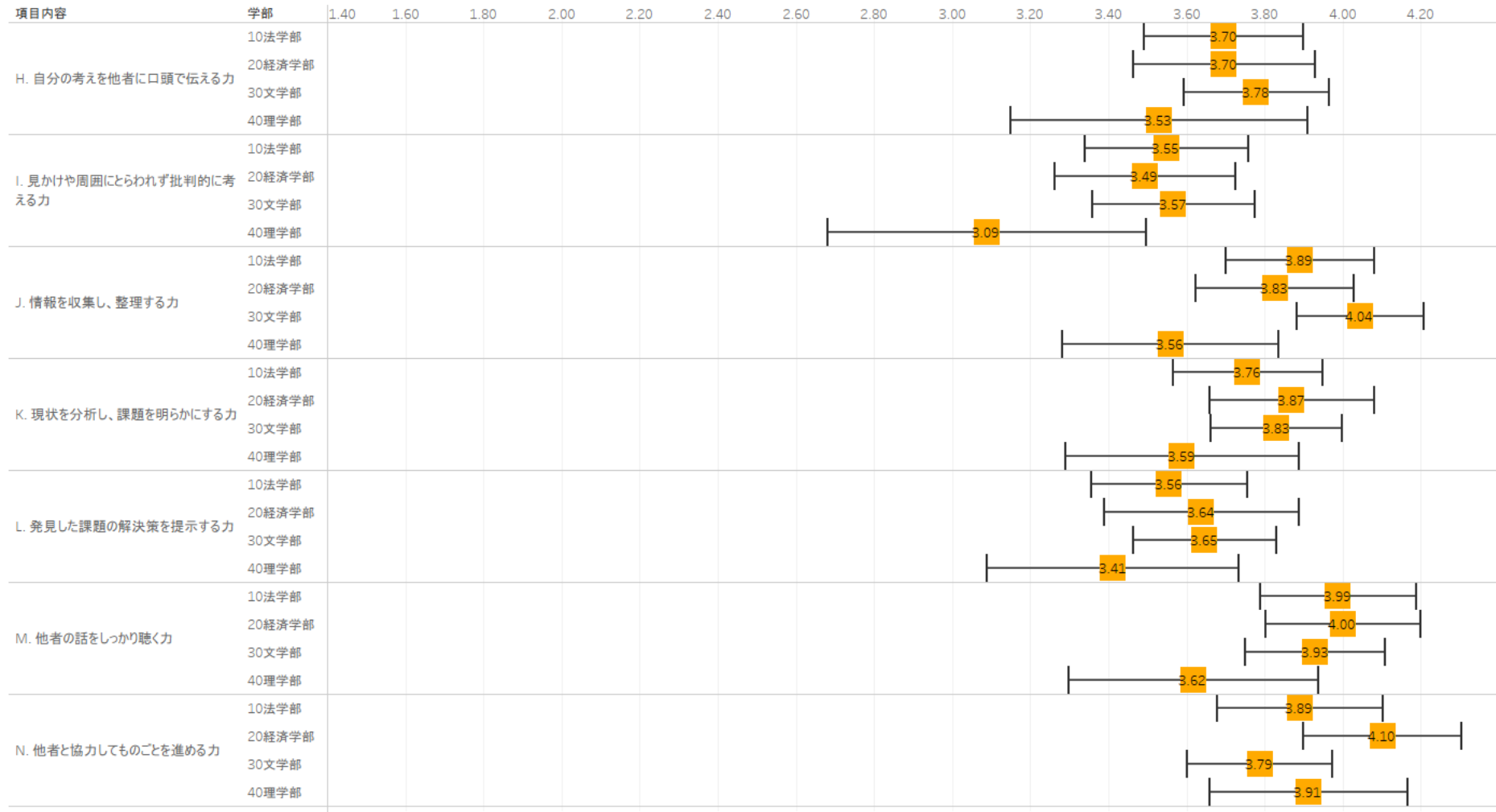
値は平均値。エラーバーは 95%信頼区間を意味する。

図 1-2 学部別回答結果 (1/3)



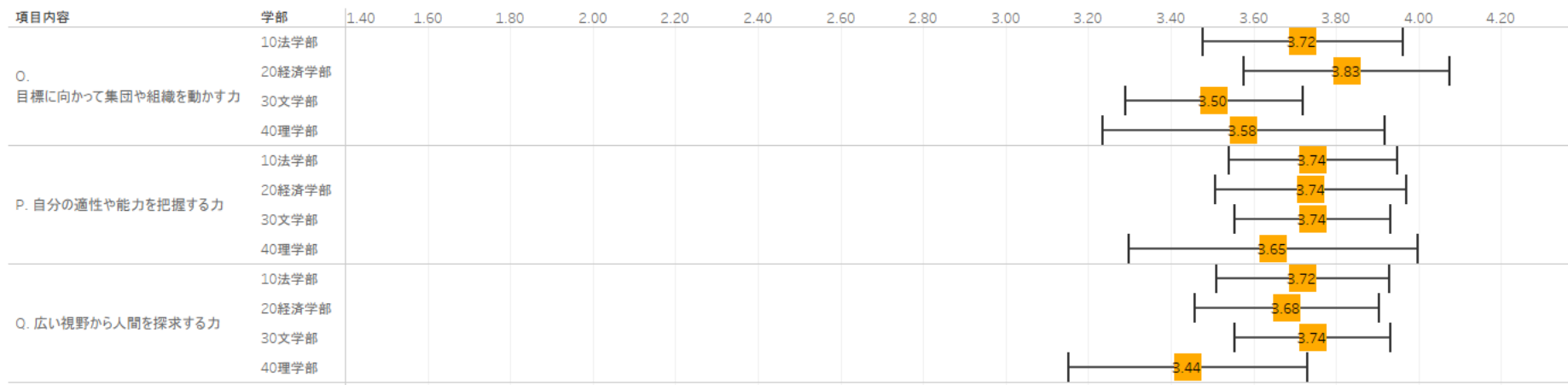
値は平均値。エラーバーは 95%信頼区間を意味する。

図 1-2 学部別回答結果 (2/3)



値は平均値。エラーバーは 95%信頼区間を意味する。

図 1-2 学部別回答結果 (3/3)



値は平均値。エラーバーは 95%信頼区間を意味する。

表1 「質問4各項目」と「質問5外国語の運用能力」回答との相関

	10.法学部	20.経済学部	30.文学部	40.理学部
A. 履修登録時には、自分の学科の4年間のカリキュラムをよく確認した	0.12	0.05	0.14	0.25
B. 授業は、その科目の到達目標を意識しながら受講した	0.19	0.11	0.24 *	0.67 **
C. 授業の受け方(ノートの取り方など)に、自分なりの工夫をした	0.14	0.13	0.30 **	0.32
D. グループ学習の機会があるときは、よく発言するほうだった	0.05	0.22	0.17	0.54 **
E. わからないことがあるとき、授業後などに先生に質問した	0.30 **	0.29 *	0.36 **	0.57 **
F. 授業時間外で、勉強の内容に関する調べ物をした	-0.03	0.16	0.22 *	0.15
G. 課題や試験勉強には計画的に取り組んだ	0.11	0.23	0.11	-0.01
H. 発表を行うときは、質疑応答などに備え、広く情報収集をした	0.29 **	0.15	0.19 *	0.40 *
I. 授業時間外で、授業等で学んだことをもとに友人と意見交換や議論をした	0.16	0.14	0.09	0.45 **
J. どちらかという、学業以外の活動に注力していた	-0.10	-0.29 *	-0.22 *	-0.44 **

* < 0.05, ** < 0.01

表 2-1 活かされたもの

ラベル名 (件数)	対象の単語
専門分野の知識(10 件)	学科の専門知識, 国際関係の知識, 参考文献の明示, 社会心理学の知識, 諸外国の政治や歴史, 数学力, 生産管理, 統計学, 法律の知識(2 件)
論理的思考力(6 件)	理解・思考力, 論理的思考(4 件), 論理立てて説明する力,
コミュニケーションスキル(6 件)	コミュニケーション能力(5 件), 他人に伝える力
姿勢・態度(4 件)	根性(2 件), 姿勢・態度, 忍耐強さ
プレゼンテーションスキル(3 件)	データをまとめ伝える力, プレゼンテーション, プレゼンテーション能力
言語化する力(2 件)	言語化する力, 言葉にして伝える力
計画性(2 件)	計画を立てて課題に取り組む力, 物事の進め方や計画性
人脈(2 件)	人脈, OG との出会い
文章力(2 件)	文章スキル, 文章力
資格(2 件)	学芸員資格 税理士受験資格
語学力(2 件)	英語, 語学力,
その他(8 件)	知識・教養, 状況判断力, 仮説思考, 現状把握力, 主体性, 基本的な PC スキル, 社会人基礎力, 課題解決能力

表 2-2 身につけておけばよかったと思うもの

ラベル名 (件数)	対象の単語
語学力(15件)	語学力(7件), 英語(4件), 外国語(3件), TOEIC
基本的な PC スキル(10件)	PC スキル(3件), Excel(2件), Excel VBA, Word, Access, IT, 情報処理
プログラミング(5件)	プログラミング(3件), コンピュータ・プログラミング知識, コンピュータサイエンス
幅広い経験(4件)	旅行などの経験, 留学経験, (経営の) 実体験, 広い視野をもって行動すること
プレゼンテーションスキル(4件)	発表や資料・文章作成方法, 自分の考えを述べる力, プレゼン, プレゼンテーション能力
コミュニケーションスキル(3件)	コミュニケーション能力(2件), 伝える力
資格(3件)	資格取得, 基本情報や AWS 認定資格, 就職先の周辺知識に関する資格
他学科の知識(2件)	他の学科の知識 (伝統文化や国際政治関連等), 経営学
その他(11件)	自己分析, 財務会計の知見, 宇宙事業に関する知識, 提案力, ブラック企業の見極め方, 社会人としての即戦力になる知識, 実践力, 現状把握力, 協調性, 論理的思考力, 勉強する習慣